

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

シンポジウム みんなで調べるタンポポ，マルハナバチ，
外来生物-市民調査への参加のススメ

Volume 41
Number 1
June 2019



表 紙 の 言 葉

畔に生育するカンサイタンポポ

文・写真 木村 進

大阪ではこのような里山の畦道などにカンサイタンポポが現在でも多く見られる。この写真は堺市の南部丘陵で撮影したもので、近くの泉北ニュータウンは開発当初は外来種が多数侵入したが、開発後 50 年経った現在は環境が安定して外来種が減少し、在来種の割合が増加している。ニュータウン周辺のこのような農地などから種子が供給されることが在来種復活の要因の一つだろう。

(2014 年 4 月 11 日撮影)

関西自然保護機構 (KONC : Kansai Organization for Nature Conservation)

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。